

布哇海戦実見談を聴く（松口月城）

日の丸の 飛機 山を 越えて 来たる

降下 矢の 如く 互いに 魁を 競う

見るべし 機腹 巨弾を 抱き

煙筒を 投入して 去つて 転回

霹靂 海を 破り 朦朧 覆る

水柱 天に 沖して 響き 雷に 似たり

真珠 湾上 硝煙 漲り

日米の 大戦 此の日に 開く

日丸飛機越山来 降下如矢互競魁
可見機腹抱巨彈 投入煙筒去転回
霹靂破海朦朧覆 水柱冲天響似雷
真珠湾上硝烟漲 日米大戦此日開

解説 日米大戦のハワイ攻撃の実見談を聞いての作。

語釈 ※降下〓高い位置から下へさがること。※魁〓他に先んじること。

※巨弾〓大きな爆弾。※煙筒〓発煙筒。※霹靂〓大きな音の響きわたること。
また、そのさま。※朦朧〓軍艦。※覆〓ひっくりかえる。転回。※硝煙〓火
薬の発火によつて生じる煙。

通釈 日本の飛行機が山を越えてハワイに飛来。真珠湾に向けて急降下は矢
のように、飛行機は互いに魁を競つた。日本の飛行機の胴体には、大きな爆
弾が備えており、煙筒、そして爆弾を投入して転回していく。おおきな音が
海に響き渡り、軍艦をも覆つた。投下されて爆弾の音は雷の様に、水柱は
空高く上がり、真珠湾は硝煙があふれるほど勢いが盛んになった。この日か
ら日米の大戦が始まったのだ。